

発行

愛媛大学ダイバーシティ推進本部  
女性未来育成センター〒790-8577 愛媛県松山市文京町3番  
E-mail hime@stu.ehime-u.ac.jp TEL/FAX 089-927-8602

## 平成27年4月より土屋由香教授 がセンター長に就任しました。



土屋由香センター長

本年度から女性未来育成センター長を拜命いたしました。遅ればせながらご挨拶をさせていただきます。大橋学長と壽ダイバーシティ推進本部長の新体制の下、女性が生き生きと活躍できる愛媛大学を目指して微力ながら尽くして参りたいと思っておりますので、どうか宜しくお願い申し上げます。

女性未来育成センターは平成22年度の設置以来、女性研究者の積極的採用を促すための「愛大式ポジティブアクション」、キャンパス保育所の整備、育児中の研究者への支援、女性研究者メンター制度、理系女子学生グループ「サイエンスひめこ」の活動などに取り組んできました。平成26年度には、徳島大学を中心とする「四国5大学連携による女性研究者活躍推進コンソーシアム形成事業」が文部科学省によって採択され、愛媛大学も他大学との連携の下に女性研究者の活躍推進に取り組んでいます。また本年度には愛媛県内の大学や行政機関をつなぐ「えひめ男女共同参画推進大学等連絡協議会」も発足に向けて準備をしています。

女性が活躍しやすい大学環境を整えることは、女性が生きやすい地域を創ることもつながると考えられます。女性未来育成センターは、今後も多様性に富み魅力的な大学創りに貢献して行く所存ですので、どうか一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

### 女性活躍推進法が成立

## 女性職員活躍推進WGが発足しました

女性活躍推進法が成立し、平成28年4月1日までに本学も、女性の活躍推進に向けた行動計画の策定などが新たに義務づけられることとなりました。

それにともない、従来のワーキンググループに加え、新たに職員を中心としたワーキンググループ「女性職員活躍推進WG」が発足し、女性幹部職員の増加、両立支援制度を利用しやすい環境作り、女性職員の将来的な意識付けなどに取り組んで行く予定です。

## 女性研究者研究活動支援事業（連携型）

女性研究者活躍推進コンソーシアムを通して、四国国立5大学が連携し、女性研究者の研究力の向上や上位職、管理職への登用を進める取り組みを実施しています。本園度もこれまでの連携をさらに強化し、四国地域全体としての女性研究者の向上を目指します。この事業の一貫として共同研究プロジェクト支援・連携シンポジウムなど様々な取り組みを行っています。

### 国際学会参加費支援制度募集

本事業の一貫として、女性研究者の出産・育児・介護ライフイベントによる研究中断からの復帰を支援するため、育児・介護休業から復帰した女性研究者に、公募により国内で開催される国際学会への参加費を支援しています。9月30日までに1名の方を支援し、12月30日〆切で第3回の募集を行っています。

### 女性研究者エンパワーメント講座・実務編 「英語力を磨く！」を開催します

第1回 英語研究プレゼンテーション  
平成28年1月23日（土）

第2回 採択される英語論文の書き方  
平成28年1月24日（日）

詳しくは  
こちらから

平成27年7月22日～平成27年8月31日

## 夏休み学童保育を行いました

教職員のお子さん(小学生)対象の夏休み学童保育を、職員会館にて実施し、総勢30人のお子さんをお預かりしました。大学教職員や学生、地域の皆さんなどにスタッフとしてご協力いただき、ミュージアム見学や読み聞かせ、大学ならではのイベントだけでなく、海水浴や川のごみ拾いなど多彩な行事を行いました。



女性未来育成センター公開シンポジウム2015  
大学における女性教職員登用の具体的方策について  
～ポジティブアクションを考える～

平成28年 2月22日（月）13：00～ 愛媛大学南加記念ホール



講師 大坪 久子氏  
日本大学薬学部  
薬学研究所上席研究員  
(元日本大学総合化学研究所教授)

## 次世代育成支援

平成27年8月6日(木) 農学部樽味キャンパス 8月8日(土) 城北キャンパス

# サイエンスプリンセスプロジェクトを開催しました

平成27年8月6日(木),8日(土),女子中高生の理系分野に対する興味や関心を寄せてもらうためのイベント「サイエンスプリンセスプロジェクト」を開催しました。



▲南予水産研究センターでの生活を  
紹介するサイエンスひめこ

今年度も、理系女子大学生グループ「サイエンスひめこ」が中心となって企画し、学部や研究センターの教員・技術職員の協力のもと、体験・見学・交流の場を設けました。

6日(木)は樽味キャンパスで行われた農学系コースには、女子中高生14人が参加しました。卒業生講演では、株式会社あわしま堂総合企画部製品開発室に勤務されている池本理子氏に、自身がどうして理系に進んだのか、進学後はどのようなことに興味を持ち、どのような研究をしたのか、そしてそれが今の研究開発職にどのように活かされているのかについて、ご講演をいただきました。その後、サイエンスひめこ6人がリケジョライフを紹介しました。

8日(土)は城北キャンパスで行われた理学系・工学系コースには、女子中高生41人が参加しました。卒業生による講演では、日立GEニュークリアエナジー株式会社原子力エンジニアリング調達本部の松岡ちひろ氏と、株式会社三菱スペース・ソフトウェア関西事業部でSEとして活躍されている藤野遥子氏に、理系を選んだきっかけや、学生時代にどのようなことをしていたか、現在の仕事の内容や現在の職に就いた経緯について、ご講演をいただきました。その後、サイエンスひめこが理・工・農学部の違いについての説明に、中高生たちは聞き入っていました。また、ひめこと回る理系施設いろいろ見学ツアー



▲農学部での卒業生講演の様子

では、工学部応用化学科の研究室、ものづくりファクトリー、ES-BANK、リニューアルしたミュージアム宇宙進化コーナーを回り、各先生方や学生から研究について様々な説明や演示を受けました。難しい説明があると、サイエンスひめこが分かりやすい言葉で解説を行いました。実験体験を行ったり、普段は見ることでできない大型機器や実験装置を間近で見ることで実際の大学や研究室を肌で感じてもらいました。



▲反応有機化学研究室にて  
実験を行う様子



▲ES-BANK見学



▲ものづくりファクトリーで作成された作品を実際に触って見る参加者

### 【参加者の声】(一部抜粋)

- わからない言葉があったけど、ひめこさんがわかりやすく説明してくれました。
- 色々な話を聞けたり実際に目で見て体験しているいろんな事がよくわかった。
- 企画が多くてとても楽しかった。
- まだ中学生なので大学は先ですが、視野に入れるに当たってとても良くわかりました。将来に役立てたいです。



## 8月22日(土) 主催:松山市男女共同参画推進センター 親子でトライ! ママとサイエンス



▲アルミパイプを使った実験に  
見入る小学生たち

毎年サイエンスひめこが講師を務め夏休みに親子を対象に実験教室を行っています。

実験では、小学1年生から4年生までの22組の児童が保護者の手を借りながら、クリップを使って小さな電池と磁石でまわるクリップモータを作成しました。はじめは回らない子ばかりでしたが学生たちが、子どもたちと一緒に、材料のエナメル線をこすったり、

最初から作り直したりして、最後はみんな回るようになりました。

また最初にデモンストレーションで見たアルミパイプの中に磁石と消しゴムをいれて磁力を体験する実験を自分達の手で体験しました。実際に体験してみて「どうして?」と不思議がり、中には原理を詳しく質問してくる子もいて学生達が丁寧に質問に答えていました。

イベント終了後も、保護者と一緒にサイエンスひめこに質問をしている姿も見られ、子どもたちの理系の興味喚起に繋がったのではないかと思います。



▲クリップモータを作成する様子

が、子どもたちと一緒に、材料のエナメル線をこすったり、